

1 単元 「地域の魅力発信！」(Sunshine English Course1 Step3 for Our Project)

2 指導の立場

＜子どもの実態から＞

子どもは、「Let's Enjoy Japanese Food」において、ALTに食べ物の種類や色、形、味などを簡単な語句や既習表現を用いて伝え合う学習を経験している。そこでは、内容・表現・伝え方に着目しながら、工夫して相手とよりよくコミュニケーションすることを捉えてきた。このような子どもが、「地域の魅力発信！」においても、どうすれば地域の魅力について外国人観光客（ALTや友達）によりよく紹介し、やり取りできるかという課題に取り組めば、子どもは内容、表現、伝え方を工夫し、よりよくコミュニケーションを図る方法を追究するだろう。

そこで、単元を構想するに当たっては、次のような教材を設定する。

＜教材について＞

本教材は、外国人観光客（ALTや友達）に地域の魅力や特色を楽しみながら伝え合うことができる教材である。ここでは、どうすれば地域の魅力や特色についてALTや友達によりよく紹介しやり取りすることができるかという課題に対して、内容・表現・伝え方に着目しながら、工夫して相手とよりよくコミュニケーションすることが大切である。そこで、外国人観光客（ALTや友達）に地域の名所や名物、行事や人物などの魅力を紹介するためにポスターを用いたやり取りの活動を設定する。子どもは、お勧めの伝えたい内容、適切な表現、よりよい伝え方を考え、簡単な語句で理由や例を用いて工夫しながら活動に取り組むだろう。

そのような学びを実現するために、指導に当たっては、次の点に留意する。

＜指導上の留意点＞

- 単元の初めに、外国人観光客（ALTや友達）に地域の魅力を紹介するために、内容・表現・伝え方を工夫しよりよいコミュニケーションを追究する課題を伝え、各自のGoalを設定することで、見通しをもち活動に取り組むことができるようにする。
- 単元を通して、課題解決のために学習活動を選択し、内容・表現・伝え方を工夫して伝え合い、気づきを共有することで、改善することができるようにする。
- 単元の終わりには、振り返りで観点を示すことで、内容・表現・伝え方、課題の解決方法、成果と課題等について考え、学びを整理して次の課題につなげることができるようにする。

3 目標

- (1) 地域の魅力を紹介しやり取りする活動で、異文化や価値観、他者を理解するとともに、基本的な文法や簡単な語句を用いて地域の情報を伝えることができる。【知識及び技能】
- (2) 地域の魅力についてよりよく紹介し、やり取りするために、内容・表現・伝え方を工夫し、簡単な語句で理由や例を用いて話すことができる。【思考力・判断力・表現力等】
- (3) 地域の魅力について、簡単な語句や理由や例を用いて主体的に英語で表現したり、課題を解決したりしようとしている。【学びに向かう力、人間性等】

4 指導計画（総時数 8 時間）

次	学習活動・内容	単元の指導上の留意点
一 ①	○ 地域の魅力（名所、名物、できること、行事等）について、外国人観光客（ALT や友達）に紹介するために、ポスターセッションと Q&A を行うことを捉える。 ・目的・場面・状況の理解 ・地域の魅力を伝え合う面白さ ・学習の見通し ・内容・表現・伝え方の工夫（ALT、自分） ・My Goal の設定 ・追究方法の検討	○ どのようにすれば、地域の魅力について、相手によりよく紹介し、やり取りすることができるかを考えさせる。そうすることで、よりよいコミュニケーションに向けて見通しがもてるようにする。 ○ 地域の魅力について、ALT と楽しみながらやり取りし、ALT の工夫点について共有する。そうすることで、自分の工夫を選択し、具体的に考えることができるようにする。
二 ⑥ 本 時 4 ／ 6	○ 地域の魅力についてよりよく紹介しやり取りするために、ポスターを作成し工夫しながら追究する。 ・内容・表現・伝え方の工夫 ・マッピング/魅力紹介ポスター ● 地域の魅力について、外国人観光客（ALT や友達）に紹介し、やり取りし、よりよいコミュニケーションができるように工夫して活動する。 ・よりよい伝え方（言い換え・単純化等）	○ ポスターを作成し、内容・表現・伝え方に着目して、よりよく紹介しやり取りする活動を設定することで、自分も相手も興味をもてる内容を簡単な語や文で言い換えるなどの工夫をするとともに楽しさを実感できるようにする。 ○ 特に伝え方を工夫して試し、気づきを共有することで、より効果的に伝えることができるようにする。
三 ①	○ 地域の魅力について、どのような内容・表現・伝え方の工夫をしたかについて、自分の学びをまとめる。 ・工夫点の共有 ・課題追究の方法 ・成果と課題	○ 振り返りの項目でよりよいコミュニケーションにするための観点を示すことで、内容・表現・伝え方、課題の解決方法、成果と課題等について考え、学びを整理し次の課題につなげることができるようにする。

5 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
There is/are, can などの語彙や文を使い、地域の魅力についての情報を紹介できる。 異文化や価値観、他者を理解するとともに、簡単な語句で理由や例などを用いて話す技能を身に付けている。	地域の魅力をよりよく紹介し、やり取りするために、相手の興味や関心を意識して情報を選び、内容・表現・伝え方を工夫し、名所、名物、行事、人物などについて、簡単な語句で理由や例などを用いて伝えている。	地域の魅力をよりよく紹介し、やり取りするために、相手の興味や関心を意識して情報を選び、内容・表現・伝え方を工夫し、名所、名物、行事、人物などについて、簡単な語句で理由や例などを用いて主体的に伝えたり、課題解決したりしようとしている。

6 本時案 ー第二次・4時分ー

(1) 主眼 地域の魅力について、内容・表現・伝え方に着目して紹介しやり取りする活動を通して、相手とよりよくコミュニケーションを図ることができる。

(2) 準備 ワークシート、マッピングポスター、学習者用端末

(3) 学習の展開

学習活動・内容	予想される子どもの反応	指導上の留意点	分
1 前時の学習を踏まえ、 本時の見通しをもつ ・ 目的・場面・状況の確認 ・ ALT とのやり取り ・ 地域の魅力を伝え合う楽しさ ・ 内容・表現・伝え方の工夫 (ALT、自分)	ア 先生の出身地域のお勧めのものを、英語で伝え合うのは発見もあって楽しい イ 先生のスピーチでは、その地域出身の有名人が出てきた ウ こんな表現も使えるな。簡単な単語や文の方が分かりやすくなる	・ 課題追究の方法を確認後、ALT とのやり取りで地域の魅力を伝え合う楽しさや ALT の工夫を共有する。そうすることで、よりよいコミュニケーションを図るためにどのような内容・表現・伝え方の工夫をするかを明確にできるようにする。	10
2 地域の魅力についてやり取りし、気づきを共有し改善する ・ 伝え方の工夫 (言い換え、単純化) ・ シェアリング What is special in your town? → There is/ We have ~. What can I do there? → You can see/eat/buy/enjoy~. Why do you recommend it? → Because it's ~. 等	ア 名所や名物を選んだ理由や感想も入れたら、内容を詳しく伝えられる イ 名物は delicious だけじゃなくて味やこだわりの材料も入れるとよい ウ 最初は反応やジェスチャーがあまりできなかったけど、次は意識したい エ 単語が分からない時、ジェスチャーと色を伝えたらなんとか伝わった	・ 相手を代えて何度かやり取りして試し、内容・表現・伝え方の工夫について問うことで、自分の課題や解決方法に気付くことができるようにする。 ・ どのような言い換えや単純化の工夫をしたかについて共有することで、既習の簡単な語や文で伝えられることに気付けるようにする。	35
3 本時の成果や課題、解決方法などを振り返る ・ 成果と課題 ・ 解決の方法	ア 何度か Speech と Q&A で伝え合ったけど、次に使いたい表現をもっと練習する活動をしてから試したい イ スピーチの中で投げかけの質問ができたらいから、聞きたい質問の表現を調べたい	・ 「伝え方の工夫」について、どのような言い換えを工夫できたかなど、成果や課題、解決方法について振り返る場を設定する。そうすることで、次時の課題についての見通しをもつことができるようにする。	50

(4) 評価規準と方法

地域の魅力について、内容・表現・伝え方に着目して紹介し、やり取りする活動を通して、相手とよりよくコミュニケーションを図ることができたか、活動の様子やワークシートからみとる。

<メモ>